

令和6年度第1回狹山市社会教育委員会議 会議録

開催日時 令和6年5月24日（金）
13時30分から15時00分まで
開催場所 中央公民館 第2ホール
出席者 石塚委員 宮地委員 八瀬邊委員 角田委員
恵比須委員 中間委員 河口委員 上西委員
栗原委員 片山委員 太田委員 品田委員
長谷川委員 渡邊委員 菅野委員 田中委員
柴野委員
欠席者 佐野委員 鈴木委員 平岡委員
事務局 滝嶋教育長 五十嵐生涯学習部長
關根生涯学習部次長兼教育総務課長
石井社会教育課長 小高 山口 福村 小暮
傍聴者 0名

1 開 会

2 委嘱状交付

3 あいさつ 教育長

4 委員・職員紹介

5 議長・副議長選出

議長に石塚委員、副議長に宮地委員、八瀬邊委員が選出された。

6 議長・副議長あいさつ

7 議 事

※議事に先立ち、「社会教育委員会について」事務局から説明した。

（1）報告事項

ア. 令和5年度事業実績について

令和5年度社会教育関連事業実施状況について、事務局が概要を説明した。

(2) 協議事項

ア. 各種委員の選出について

各種審議会等の委員について、社会教育委員から選出された。

委 員 一人の委員が複数の審議会等委員になることは可能なのか。

事務局 審議会等の委員については、3つの委員までとしている。審議会等でなければ制限は設けておりません。

イ. 社会教育関係団体に対する運営費補助金について

社会教育関係団体運営費補助金について、補助金を交付している3団体の概要と主な活動、また、各々の団体の令和5年度交付確定額と令和6年度の交付予算額等を事務局から説明した。

委 員 補助金の交付条件等の判断材料はあるのか。

事務局 市の補助金の交付要綱があるが、各団体に対して交付する補助金の要領がある。判断材料としては、事業計画書や予算計画書、構成している団体の会則を提出いただき、事業の内容、支出内容等を確認したうえで交付している。

委 員 実際に確認した結果、補助金が多いとか少ないといった判断ができるのか。

事務局 補助金の要領の中に、団体に対する算出式といったものがある。予算書と比較して乖離した金額となっていないかどうか。実際の事業に対して支出が多すぎないか等の精査をしている。また、年度末に実績報告書の提出があり、その中の決算書を確認する際に団体の会計担当者にも同席いただき、支出について適正であるかどうかを確認している。

委 員 新規の団体から交付申請があった場合、交付は可能なのか、また、交付の後に審査を行うということか。

事務局 大前提として、この補助金は連合体に対するものであり、新規の連合体が補助金申請を行った場合は、今年度は予算を確保していないため、来年度以降の交付となり、その際には連合体として、補助金交付団体に値するかどうかを確認し交

付する予定です。

委員 P T Aのあり方が問われている中で、狭山市におけるP T Aの加入率がどうなっているのか。そして、減少しつつあるP T Aの団体へ補助金を交付することについて教育委員会として見解があれば教えていただきたい。また、書類上の表記で気になった点について、文庫連絡会の活動内容の部分に、中央図書館クリスマス会への協力と書かれているが、参加と記載したほうがよいのではないか。書類上誤解を招いてしまう可能性がある。

事務局 P T Aの加入率について、P T A連合会には市内の全小中学校が加入しており、100%の加入率である。各学校P T Aへの未加入者については、ほぼ横ばい。正確な数字ではないが、市内小中学校のP T A加入率は90%程度であり、一番少ない学校でも70%程であるため、補助金交付については問題ないと考えている。

5 事務連絡

事務局から次のとおり説明した。

- ・事前に送付していた氏名等確認書の提出の依頼。新たに委嘱された委員については支払口座申請書および個人番号届出書について提出を依頼した。
- ・各種委員の選出について今後追加で1名選出してもらう予定があることを伝えた。正式な選出依頼があった場合は、改めてお願いする旨を連絡した。

6 閉 会 副議長